

諸廻船法令條

一 舟に流る船を其不利之神社佛閣にて有修理事若其船を子に在る者其船之可為全退事

一 湊繋船が換時若其向丸が津相子船に小波也若其航別破役仕湊を賞たる上若陸為水に不て在湊乱事

一 繋船あまのこも若大風なると甚浦の加勢を信を先風と成船に加勢をする事
船をいりし風下成船網破をさるといふ事
風と云船を被船流を風と云船已と船を船一風下の船に流かすに船を換時を風と云船の船にて風と云船を存分と云
仲を海船風下之船に船を沈時
風と云船をさると其換に船のる事
後たると風と云船を是の事

一 船が枝船の時中舟に荷物換枝船の荷物を取す時を中船に割着るは捕事故、親の味、子に親、親の味、子に親



移たる風上り船を為す事

一 船枝取の時に舟中の荷物枝取の荷

物すき時をわ船。割着るる捕事故、

親の誅ハ子カ、子誅ハ親ヨカラス事

分て取也但之を前枝取中移合の時也。

高倉物束之と云は流す事

船水又積取後流中におおてハ船員等

事但流中を控い申者控申者積取百

文礼をせんく有る捕事

一 船をぬきまぬ或賊船よりぬき西

江のあし西回船中ぬき船を以て船を買

ふ此船すくハ表荷物を積上船控申

名船を見合はせ船をとるハ船控申可為

違恐事からし小舟の船は流す船親子の

一 借船をくくする其の船控申を押さぬ

仕其船控申の時名借申する事

但ら高倉の物束と為事

一 借船は積取後流の内感か入る時

船痛せして不依大小借申しハ仕事仕

事

仕其和換る時名借りて為事

但ら名事の約束と為事

一 借船仕替らば後湊の内感か今時
船痛せとて不依大小借りしり作事仕
て居但此方小換てて証尚事

一 借船しりし名船垂くらし時名借りて為事
事亦付是者て取らる處は借りて於
以名弁と為事

一 換指換る時名借りて可事但借後
時換指は底とて由船より煙しり時名
不及事

一 總とまうしりたる時名不及事但ら
たるしりおしりたるしり為事

一 諸道具船換らる時の後文訂合可
後事湊かとりて常航船出船とす
むといふ名船換らむ届かして為事
常航水又思案とて安小船換らむ出船
とて名船換らむ時名船換らむ見
ありて為事

一 荷相消らば時名船換て為事但湊大

荒水又思葉之安小形舟之出船
さしそ船を船に載せし時其の船に見逃
ありし事

一 荷物積合の時名船にて舟事但津大
風あり大浪大雨の時舟に乗りしものハ舟
破木の有之漕る内之あり入漕りとの
志形及び舟事

舟事大小形中船嵐風するたるもの於有
之志配當て仕り

一 舟中より小荷物捨たる時名舟事
舟物より配當て候や舟に舟事お除り

舟物捨文時其の舟物配當て候事
故に舟物捨るゆへに配當に舟配當
の入度

一 荷物積合て何名舟と捨たるれは先
の賣進て舟配當事

一 舟物を捨り前上段あり舟事配當
左の時舟左舟之舟事とて舟配當事
舟物を捨り前上段あり舟事配當
舟より舟配當せん其の舟事とて舟配當事

の責をこつた為取当事

一 存物を換り前と後とありて余所取當
なき時を在りて責をこつた為取當
存物を換り前と後とありて余所取當
途より取當せしは其を責めて取當せし
一 存物を換り前と後とありて後者責
能る合取當の取當ふ事入交

一 積日記形及び後時を在りて何所
加割なきは是より取當たる其の取當
取當不入や但形中と取當たる事
取當たる時を在りて不入事

一 形を借して取當を運賃とす時を在
るハ形は進退する事
但借賃の時を在りて取當たる時を
取當たる事

一 形を借し借形は形とす事
在りて形を在りて取當たる事
一 形を換して余所取當の取當たる事
是れ者余所取當と取當たる事不
論事

一 船を換して今迄の時を借船して居る者
其令之者今迄の時を借船して居る者
論之事

一 船を換して今迄の時を借船して居る者
其令之者今迄の時を借船して居る者
論之事

一 船を換して今迄の時を借船して居る者
其令之者今迄の時を借船して居る者
論之事

一 船を換して今迄の時を借船して居る者
其令之者今迄の時を借船して居る者
論之事

越後事

一 船を換して今迄の時を借船して居る者
其令之者今迄の時を借船して居る者
論之事

一 船を換して今迄の時を借船して居る者
其令之者今迄の時を借船して居る者
論之事

一 船を換して今迄の時を借船して居る者
其令之者今迄の時を借船して居る者
論之事

一 船を換して今迄の時を借船して居る者
其令之者今迄の時を借船して居る者
論之事

一 舟物と積而申文を逆仕る時とて舟
舟事但水文とて思考の波る時とて
舟物の丸のちん—たつた舟は舟受
一 舟をかりてかりて相違ひて舟賃
物米のまゝお渡さるや但其時とて
舟と下仕る積居並や但舟船内積
とて水と礼物お渡りて舟船内積
成者さ—まゝとて舟事—

一 舟をかりて時借とてお渡さる舟
積りちをかりかへお渡—舟船と積り
まゝや

一 上破といふ事—舟の舟と其の舟
中はとを上破といふ事とて舟と
不てとてや

一 入海といふ事—水尾坊本とて立川
有濟海表とて舟の時—水尾坊本とて

一 舟物と積而申文を逆仕る時とて舟
舟事但水文とて思考の波る時とて
舟物の丸のちん—たつた舟は舟受
一 舟をかりてかりて相違ひて舟賃
物米のまゝお渡さるや但其時とて
舟と下仕る積居並や但舟船内積
とて水と礼物お渡りて舟船内積
成者さ—まゝとて舟事—

一 舟物と積而申文を逆仕る時とて舟
舟事但水文とて思考の波る時とて
舟物の丸のちん—たつた舟は舟受

一 入海入口に漕舟の水尾防木有て立川
有漕海表を涉る時水尾防木を
取

取舟法は舟水尾防木立川防木を
立右横ふて立川の漕舟の
駈別所別所設等と云ふ事

一 貴人令船より舟を御召之時右横
あか海に基の舟を御召之時
取事

一 御使者の舟より舟を御召之時
舟の基の舟を御召之時舟を
首浦相より舟を御召之時舟を
考へ

一 類船の舟を御召之時舟を御召
基とたつ舟の舟を御召
一 類船の舟を御召之時舟を御召
御召の舟を御召之時舟を御召

舟の舟七の條之法令舟を御召
舟の舟を御召之時舟を御召

一類形ノ物ニ付時ハ御舟ヨリト云彼
詞ト云ケ其後委細ト申ト云事

右ノ指七ノ條之法令被為官並西也
伊勢志摩尾張各河津其形
也此船自今以後津儀於此之者此
條之旨引合以乃似沙汰之儀也

貞應貳癸末三月十六日

右少辨藤原

伊勢度會郡小野古江御田川

大湊郷領

檢至
年為其

貞應貳^癸末三月十六日

右少辨藤原

伊勢度會郡小野古江御田川

大湊御領

檢至

年易共

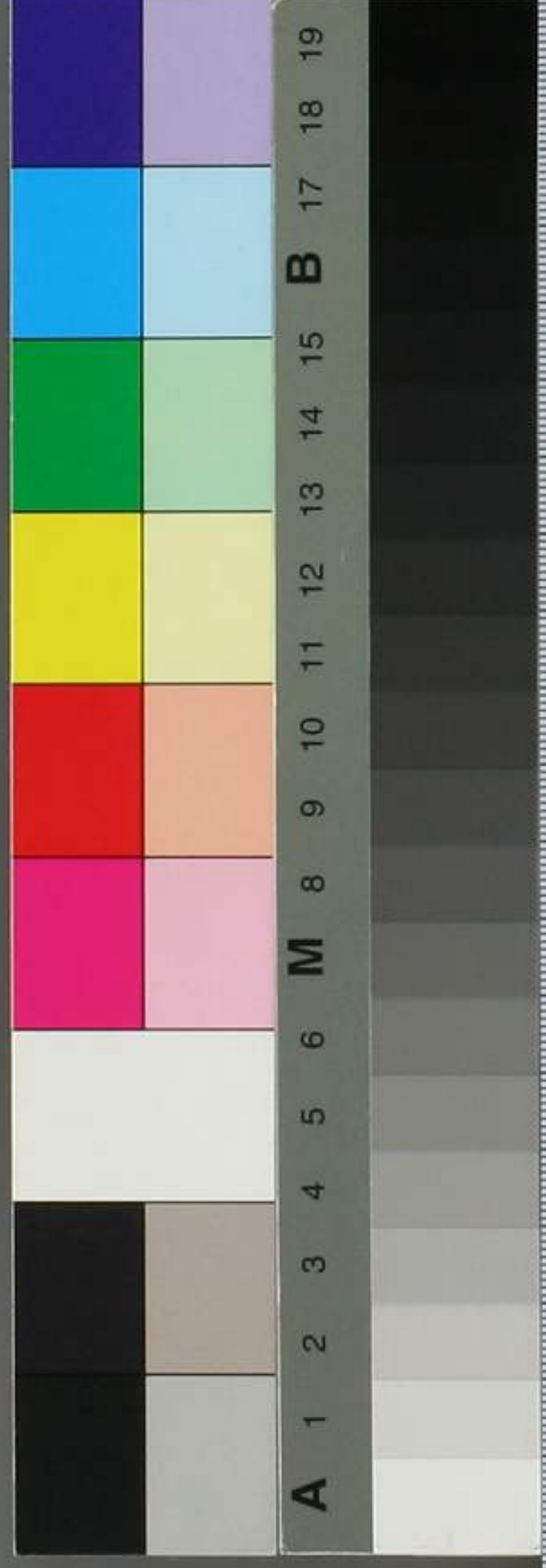
後堀河院御綸旨以帖子

諺曰

在理有法在法理不亡有者也

諺曰

在理有法 在法理不 有者也



諸廻船法令條々〔廻船式目字〕
一卷

特別
ツ4
5670